



## 青森県感染症発生情報 (2017年第38週)

### I 第38週の発生動向 (2017/9/18~2017/9/24)

1. 手足口病については、三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内で**警報**が**解除**されました。東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、五所川原保健所管内、むつ保健所管内では**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。
3. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が前週より減少しましたが、依然として報告数が過去5年間の平均と比較して多い状態が続いていますので引き続き注意が必要です。RSウイルス感染症は、患者報告の大部分が0歳児と1歳児で、症状が重くなる場合があるので注意が必要です。
4. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均と比較してかなり多く、三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いています。上十三保健所管内では前週の1.17から2.33に増加していますので注意が必要です。

### II 第38週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科	インフルエンザ															-2
小児科	RSウイルス感染症	9	1.13	17	1.89	25	2.50	10	2.00	7	1.17			68	1.62	-24
	咽頭結膜熱	1	0.13			2	0.20					1	0.25	4	0.10	2
	A群溶血性球菌咽頭炎	2	0.25	7	0.78	5	0.50	4	0.80	8	1.33	4	1.00	30	0.71	7
	感染性胃腸炎	23	2.88	9	1.00	26	2.60	13	2.60	2	0.33	5	1.25	78	1.86	-12
	水痘	1	0.13	1	0.11	1	0.10	1	0.20					4	0.10	-2
	手足口病	22	2.75	30	3.33	19	1.90	15	3.00	11	1.83	10	2.50	107	2.55	-66
	伝染性紅斑															-5
	突発性発しん	2	0.25	2	0.22	7	0.70	1	0.20	2	0.33	1	0.25	15	0.36	-6
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	10	1.25	1	0.11	5	0.50	13	2.60	1	0.17			30	0.71	-19
流行性耳下腺炎	2	0.25			25	2.50	6	1.20	14	2.33	3	0.75	50	1.19	13	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	2	1.00			2	1.00							4	0.36	1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00					1	1.00	1	1.00	3	0.50	-3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

## 感染症の窓

### 腸管出血性大腸菌感染症 (三類全数把握対象疾患) 第2回

大腸菌には病原性のないものから、腸管出血性大腸菌のように強い病原性を有するものまで様々な種類があります。腸管出血性大腸菌の感染による症状は、無症状の場合や軽度の下痢ですむ場合、おおよそ3~8日の潜伏期において激しい腹痛を伴う水様下痢で発病し、後に血便がみられる場合と様々です。毒性の強いベロ毒素を出し、溶血性尿毒症症候群(HUS)などの重篤な合併症を引き起こすことがあります。HUSは乳幼児や子ども、高齢者に起こりやすいので特に注意が必要です。

また、感染力が非常に強く、ごく少量の菌量でも感染が引き起こされ、二次感染が起きやすいのが特徴です。

腸管出血性大腸菌は、サルモネラや腸炎ビブリオなどの食中毒菌と同様、加熱や消毒薬で死滅しますので、通常の食中毒対策を実施することで感染を予防することができます。食中毒予防の三原則は、**食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」**です。食品は**中心部まで十分に加熱**(75℃、1分間以上)し、調理や食事の前に**石けんで手を洗い**ましょう。

○詳しい予防方法などの情報はこちらをご覧ください [腸管出血性大腸菌 Q&A\(厚生労働省 HP\)](#)

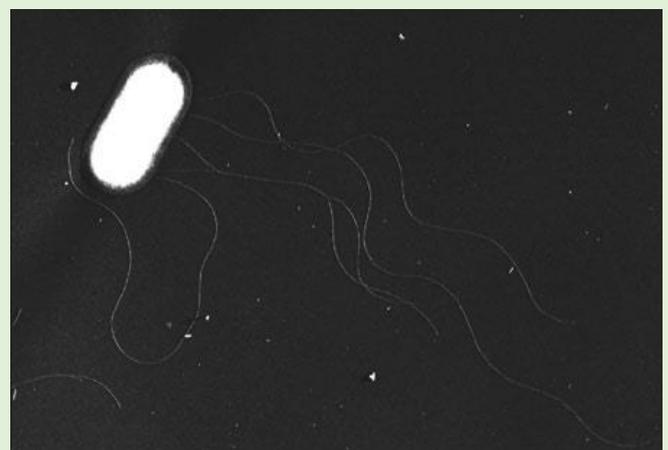


図: 腸管出血性大腸菌結核菌 O157:H7 の電子顕微鏡写真

出典: 国立感染症研究所 HP

### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市2人、弘前4人、五所川原1人、むつ2人 (2017年計:219人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：弘前1人、八戸市1人 (2017年計:25人)
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：上十三1人 (2017年計:53人)
- ・破傷風（五類全数把握対象疾患）：弘前1人 (2017年計:1人)

### Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

- 上気道炎患者（咽頭ぬぐい液、9/7）・・・ヒトライノウイルス C：弘前1人  
 不明熱患者（ふん便、鼻汁、9/11）・・・ヒトパレコウイルス 3型：弘前1人、  
 ヒトライノウイルス A：弘前1人

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2017年第35週～2017年第38週)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
35	H29.8.28 ~ H29.9.3			カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			
36	H29.9.4 ~ H29.9.10		梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 デング熱1人			
37	H29.9.11 ~ H29.9.17						
38	H29.9.18 ~ H29.9.24		腸管出血性大腸菌 感染症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		梅毒1人	

### Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2017年第35週～2017年第38週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
35	H29.8.28 ~ H29.9.3		3			1	
36	H29.9.4 ~ H29.9.10			2			1
37	H29.9.11 ~ H29.9.17		4	1			
38	H29.9.18 ~ H29.9.24	2	4		1		2

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第1週～2017年第37週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	15989	6	108	2957	26	12	238	208	20	10

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	1	3	73	2	3	111	177	227	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	3	44	17	1	1188	24	767	204	1134	508

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	9	145	400	982	45	270	20	2351	214	3974

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	90	91	59	66	176	17

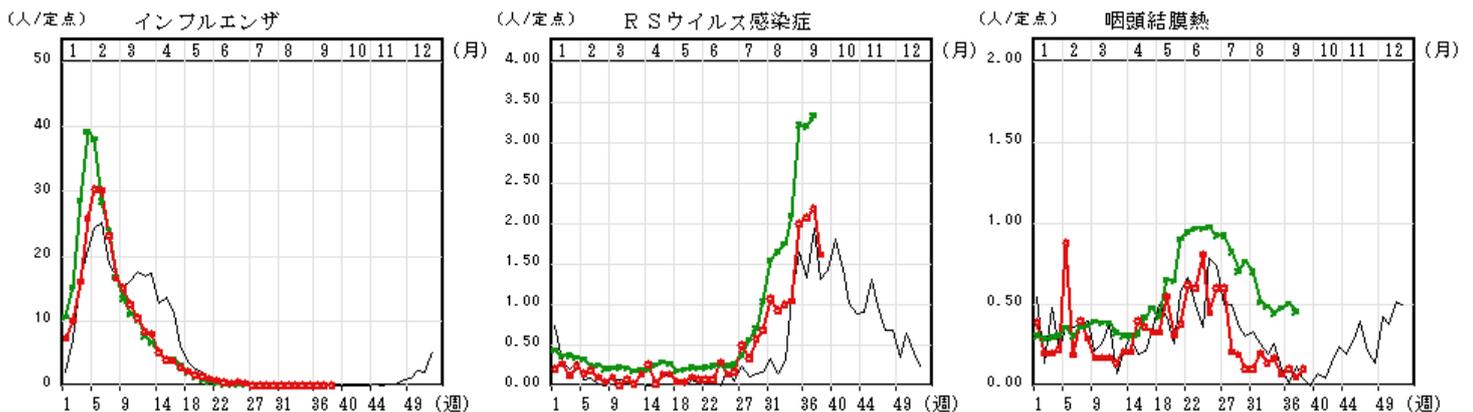
青森県（2017年第1週～2017年第38週までの累計）

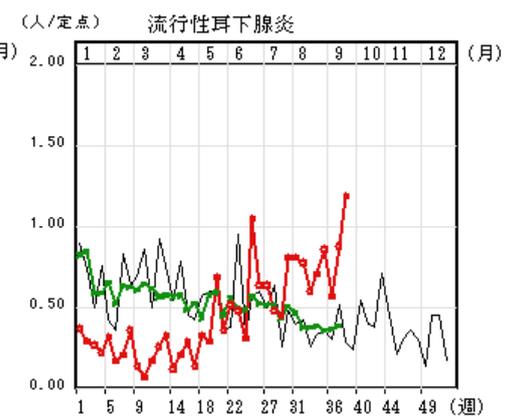
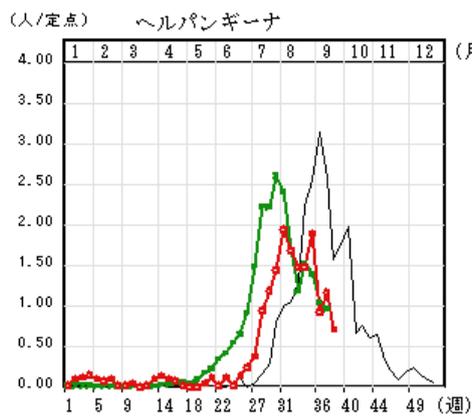
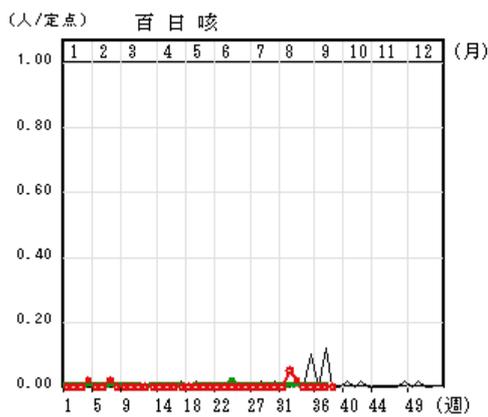
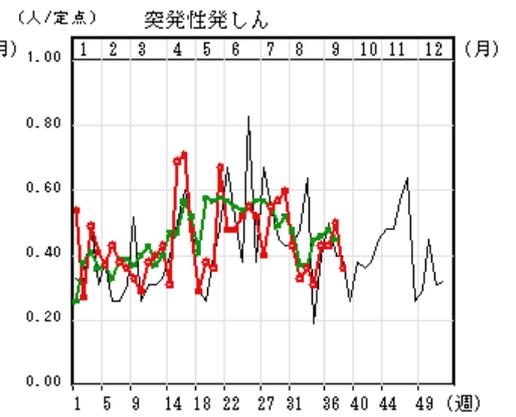
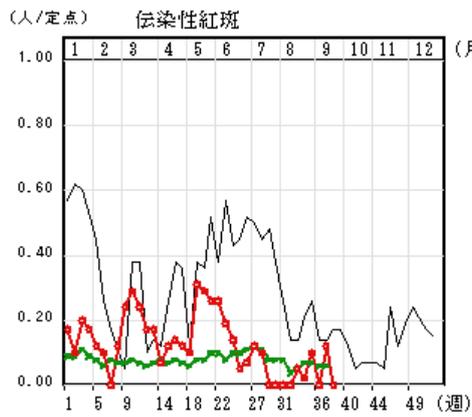
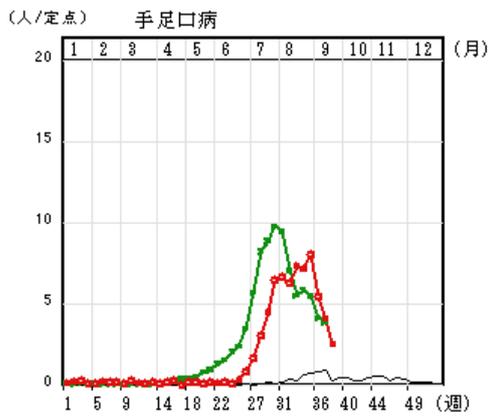
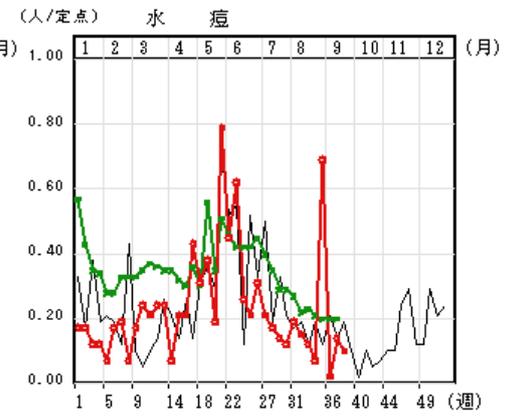
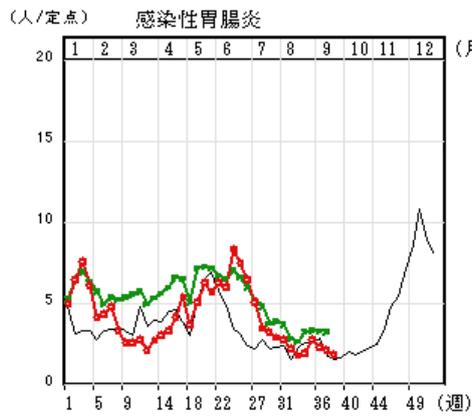
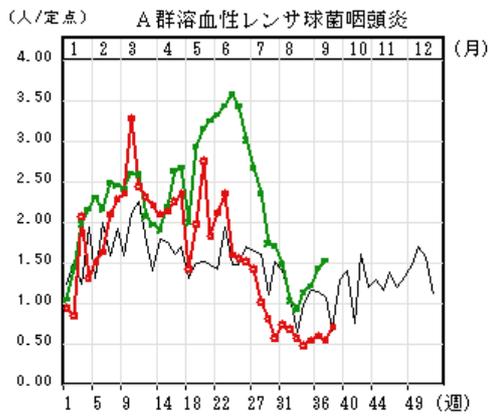
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	219	25	6	2	10	1	7	4	13	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	5	1	8	1	53	1

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第38週、ただし全国は前週）

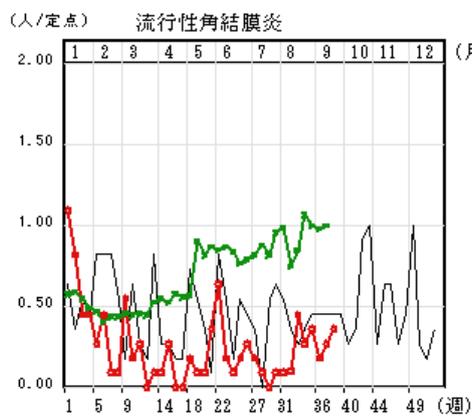
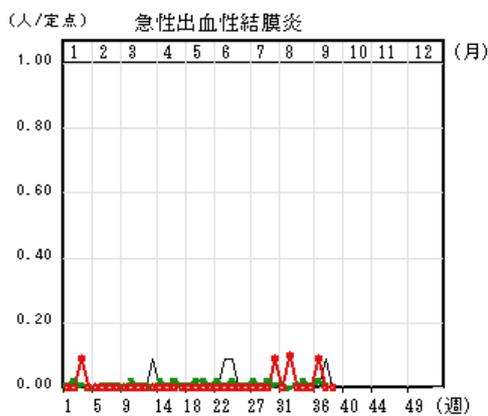
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





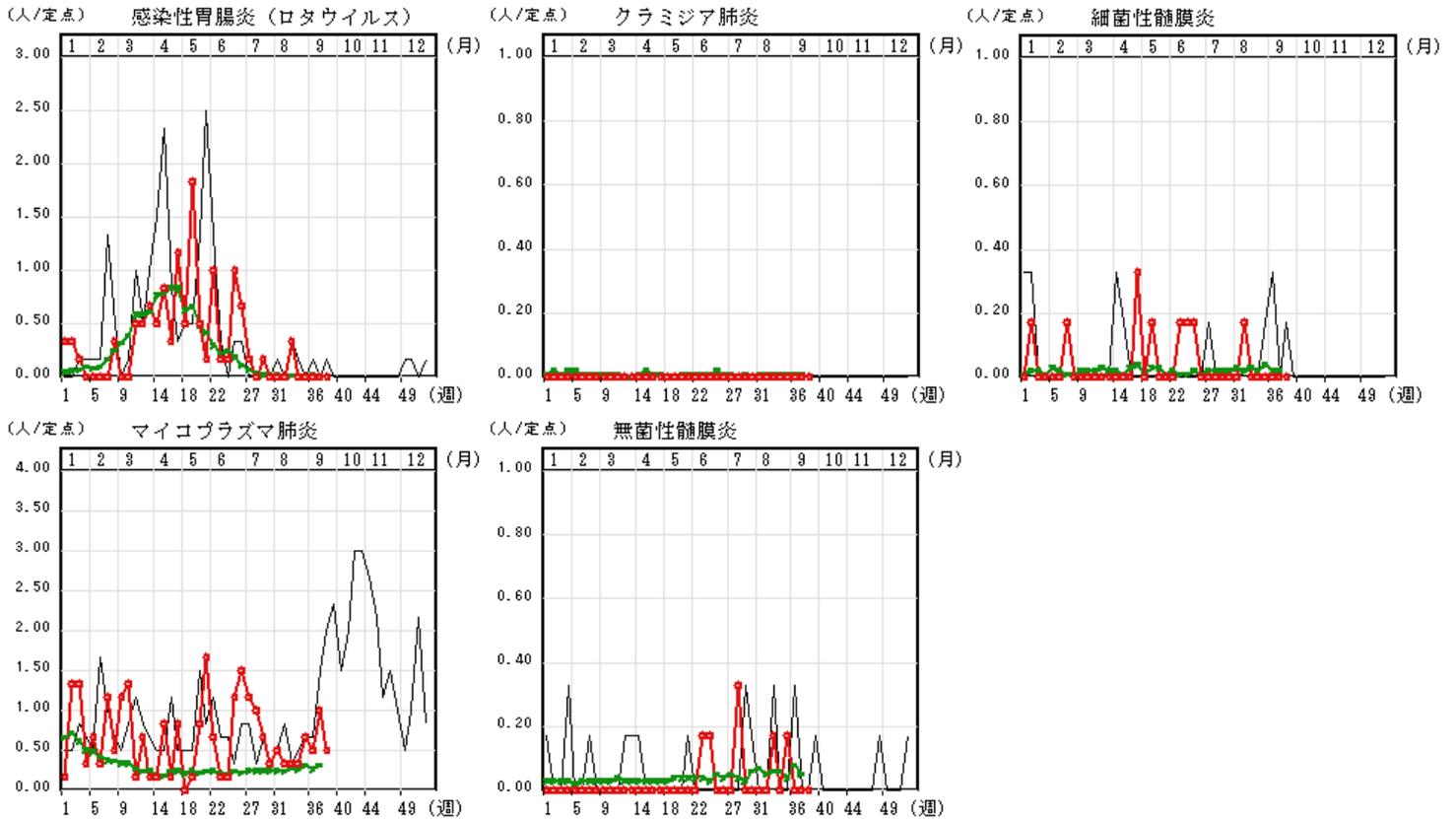
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第38週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第38週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第38週  
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35週	36週	37週	38週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	7
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	0	0	15	0	134
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	10
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	0	0	15	0	227